

# any

ars nova yamaguchi

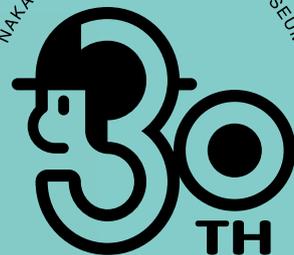
「エニー」

Summer 2024

JUL.-SEP.

# 128

NAKAHARA CHŪYA MEMORIAL MUSEUM



中原中也記念館  
開館 30 周年

特集 特別企画展  
「中也とランボー、  
ヴェルレーヌ」

詩人・中也を  
形づくるもの



C O N T E N T S

特集

03 詩人・中也を形づくるもの

特別企画展

「中也とランボー、ヴェルレーヌ」

08 any 通信

- ◎アーティストボイス 亀井聖矢 (ピアニスト)
- ◎お先に試写しました 「あんのこと」(監督:入江 悠)
- ◎読書の窓 岸本佐知子、三浦しをん、吉田篤弘、吉田浩美『『罪と罰』を読まない』
- ◎映画と 『関心領域』パンフレット
- ◎any music STUTS & 長岡亮介「いろどりのうた」

ピックアップイベント

10 山口情報芸術センター  
 YCAM Dance Crew 2024  
 ダンスブース展示  
 ダンスが進化する体験展示

YCAM 爆音映画祭 2024  
 ひとあじ違った大迫力の映画体験を!

中原中也記念館

企画展II(前期) 浅田弘幸展  
 ——『眠兎』と中也、そして新作絵本  
 浅田弘幸の作品を通じて知る中也の詩の魅力

山口市民会館

特撰花形落語会 春風亭昇太・林家たい平 二人会  
 いよ、待ってました!ご両人!!

でべそ版ずっこけ狂言

ぼんさん・ぼんさんギンナンパー

伝統芸能をググッと身近に! 全世代が楽しめる新感覚の狂言

13 DYNAMIC 賢者の音III  
 五十嵐健太とサクスの世界

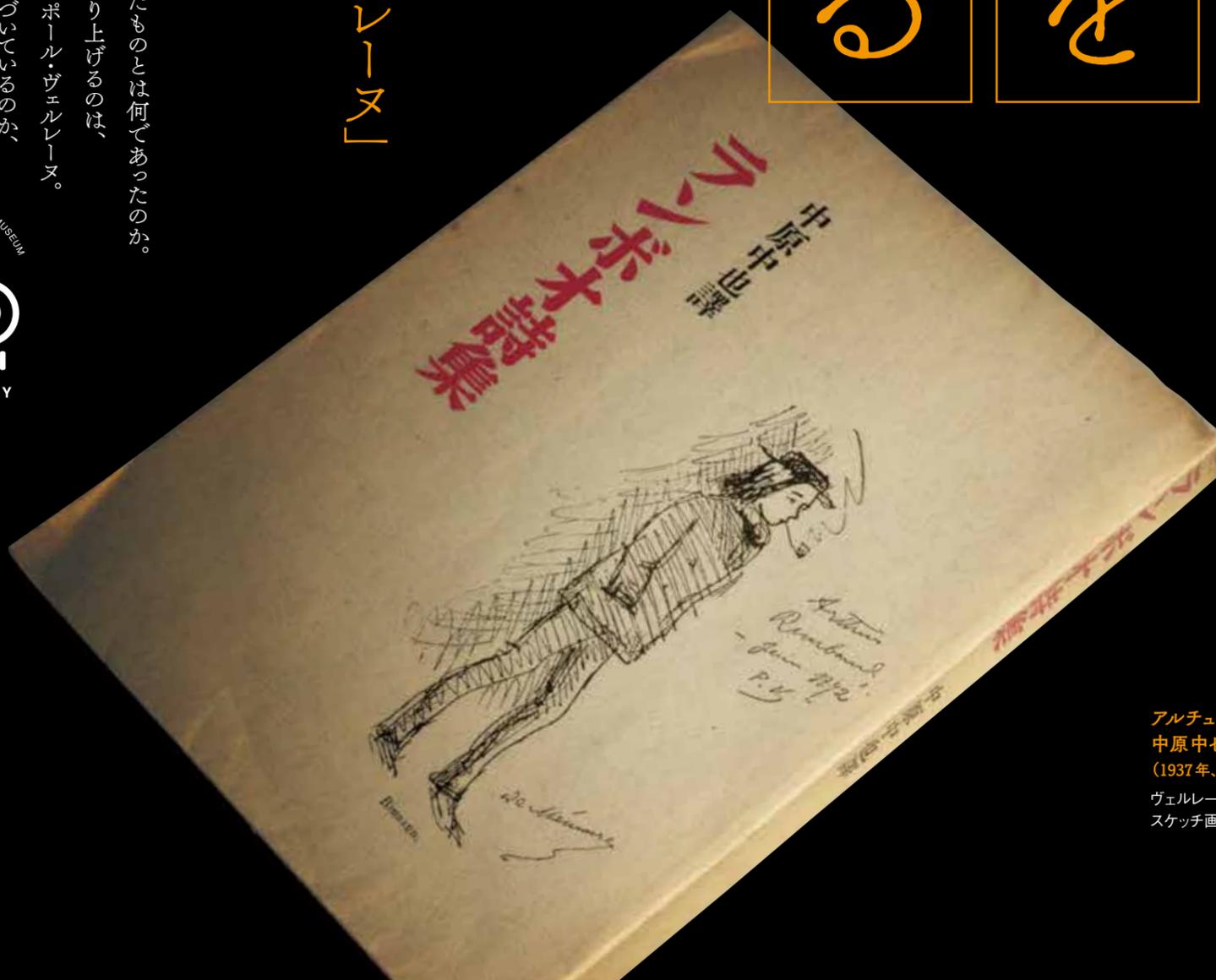
14 イベントカレンダー 7~9月  
 INFORMATION

今年2月に開館30周年を迎えた中原中也記念館。中原中也の詩人としての生涯に大きな影響を与えたものとは何であったのか。そんな壮大なテーマのもと、今回の特別企画展で取り上げるのは、フランス象徴派の詩人であるアルチュール・ランボーとポール・ヴェルレーヌ。ランボーとヴェルレーヌの影響が中也の作品にどう息づいているのか、そしてどのように詩人・中原中也を形づくっていったのか。展示担当者の菅原真由美さんへのインタビューを通して中也の詩人としての核心に迫っていきます。



特集 特別企画展

「中也とランボー、ヴェルレーヌ」



アルチュール・ランボー／  
 中原中也訳『ランボオ詩集』  
 (1937年、野田書房)

ヴェルレーヌが描いたランボーの  
 スケッチ画が表紙に使われている。

ランボーとヴェルレーヌの  
人生を語る上では  
お互いは欠かせない  
人物だった

今回の展示で紹介するアルチュール・ランボーとポール・ヴェルレーヌについて教えてください。

ランボーとヴェルレーヌはともに象徴派を代表するフランスの詩人です。ランボーは1854年に、フランス北部のシャルルヴィル(現・シャルルヴィル-メジエール)で生まれ、1891年に37歳の若さで亡くなりました。少年時代から文才を発揮し、すでに詩人として活躍していたヴェルレーヌに自作の詩を送ります。この時、ランボーは16歳。ランボーの早熟な才能を見抜いたヴェルレーヌによって、ランボーはパリに呼び寄せられます。詩人として活動した期間は約5年と大変短く、21歳頃には詩作から離れています。ランボーが残した作品は少なく、韻文詩が約60篇、のちに『イリュミナシオン』としてまとめられた散文詩が約40篇、そしてランボー自身が出版に関わった唯一の刊行書である散文詩集『地獄の季節』のみです。世に送り出した作品は少なくとも、現代においてもランボーは詩人として名を残しており、世界中に影響を与えた詩人といえます。

一方のヴェルレーヌはランボーより10歳年上で、1844年にシャルルヴィルにも近いフランス北東部のメッスという町の裕福な家庭に生まれ育ちました。1896年、51歳で亡くなっています。少年時代のヴェルレーヌは優秀でしたが、文学に目覚めて成績が悪化します。少し中也に似ていますよね。ヴェルレーヌは14歳の時に、『レ・ミゼラブル』で知られる作家、ヴィクトル・ユゴーに自作の詩を送ります。22歳で第一詩集『土星びとの歌』を刊行。その後も『艶なる宴』『優しき歌』『言葉なき恋歌』『叡智』など数多くの詩集を出し、生涯で約540篇の詩を残しました。日本でよく知られている翻訳には、上田敏訳の「秋の日の ヴィオロンの ためいきの」で始まる「落葉」や、堀口大學訳の「巷に雨の降るごとく わが心にも涙ふる」などがあります。ヴェルレーヌの詩だとわかんなくても、なんとなくそのフレーズは聞いたことがあるという人も多いかもしれません。上田敏や堀口大學などの名訳があつてこそ、ヴェルレーヌの魅力が日本に伝わったという側面もあったと思います。今の日本ではヴェルレーヌよりランボーの方が読まれている印象ですが、明治から大正時代にかけてはヴェルレーヌの方が広く読まれていました。2人がパリで出会った時にはヴェルレーヌは既婚者でしたが、ランボーとヴェルレーヌは恋愛関係になり、ブリュッセルやロンドンで共同生活を1年ほど送ります。徐々に諍いが絶えなくなって、最終的にはブリュッセルの地で口論の末にヴェルレーヌがランボーに発砲、怪我を負わせてしまいます。ヴェルレーヌは逮捕されて入獄、2人の関係は破綻しました。出所後、ランボーに会ったヴェルレーヌは、ランボーから詩の原稿を託されます。後に、それらの原稿は1冊の詩集にまとめられ、『イリュミナシオン』として出版されました。2人が会ったのはそれが最後だとされています。

2人の関係は、とても激しく短く終わりますが、ランボーの詩人としての活動はほぼヴェルレーヌと一緒にいた期間ということもあり、2人の人生を語る上では、お互いは欠かせない人物だったといえます。

ヴェルレーヌ＝音楽性  
ランボー＝自由詩の先駆者

2人の詩の特徴はどのようなところにありますか？

ヴェルレーヌは、詩において音楽性を追求したと言われています。ヴェルレーヌは詩「詩法」の冒頭で「何よりもまず音楽を」とうたい、「そのために奇数脚を好め」と続いています。奇数脚とは、詩の1行の音節数が奇数で成り立っている技法を指します。伝統的なフランス詩は安定感を感じさせる偶数脚であったのに対して、ヴェルレーヌは、奇数脚のリズムが生み出す不安定さに音楽性を見出しました。ランボーの初期作品にして代表作に「酔いどれ船」があります。中也訳は、「私は不感な河を下つて行つたのだが、」で始まります。語り手である主人公の「私＝船」が、操縦者を失い、大海原を漂流していく様子が描かれますが、その過程で、様々なイメージが繰り広げられていきます。この詩を書いた時、ランボーはまだ海を見たことがなく、書物などから得たイメージを元に海の様子を想像して書いていました。支配からの解放、放浪、未知なるもの



photo: 谷 康弘



ポール・ヴェルレーヌ Paul VERLAINE

1844年、フランス北東部のメッスに生まれる。音楽性に富み多彩な韻を踏んだ詩を約540篇、代表作となる詩集『土星びとの歌』『叡智』をはじめ数多くの作品を残す。獄中でカトリックに改心するが、次第にアルコールに溺れる生活を送る。晩年は若手文学者から「デカダンの教祖」として尊敬を集めた。1896年没。

への探求心などを海に投影して書かれた作品です。

ランボーといえば『地獄の季節』のような散文作品がよく知られています。詩を書き始めた頃は、形式を持った韻文詩を書いていましたが、徐々にそこから脱却して、伝統的な詩のスタイルから一歩踏み出した作品を作るようになります。自由詩の先駆者ともいわれ、後にシュルレアリスムやダダイスムにも影響を与えました。中也の帽子をかぶった有名な肖像写真(p.6写真)は、ランボーを真似たスタイルだと言われています。詩だけでなく、新しい詩人像としてのランボーに魅かれたのではないのでしょうか。

中也はすでに亡くなっている2人の詩人をどのようにして知ったのでしょうか？

1924年、中也は17歳の時に京都で詩人の富永太郎と出会います。その富永を通して、中也はランボーとヴェルレーヌを学びます。富永はフランス語に堪能で、フランスの詩についての知識も非常に豊富でした。中也は「詩的履歴書」という文章の中

ランボーとヴェルレーヌは  
中也にとって  
憧れの存在だった



アルチュール・ランボー Arthur RIMBAUD

1854年、フランス北部のシャルルヴィルに生まれる。少年時代から文才を発揮し、16歳で代表作『酔いどれ船』を引上げ、パリの詩壇に登場。早熟な才能を認められるも、21歳で詩を放棄。その後、貿易商人としてアフリカなどで暮らす。1891年に37歳で病没。

で、「大正十三年夏富永太郎京都に来て、彼より仏国詩人等の存在を学ぶ」と書いています。1927年の中也の日記に、「世界に詩人はまだ三人しかをらぬ。／ヴェルレーヌ／ラムボオ／ラフォルグ／ほんとだ！三人きり」「ラムボオつて人はほんとに素晴らしいんだ」などの記述がみられますが、この時期はとにかく頻りにランボーとヴェルレーヌの話題が出てきています。

2人の詩人の存在は中也から見るととても印象的だったのでしょうか？

そうですね。当時、中也の恋人だった長谷川泰子が、中也と富永が京都を歩いている姿を見て、「ヴェルレーヌとランボーのようだ」と回想しています。彼らの中で2人は憧れの存在だったのでは。また、中也やその周辺の仲間たちの間で、ランボーやヴェルレーヌをはじめとする象徴派の詩人を紹介する本『表象派の文学運動』(岩野泡鳴訳)がはやっていました。若き日の中也たちは、このような書物を通じてフランスの詩人たちについての知識を深めていきました。

西洋詩に学ぶことで  
日本の近代詩は  
大きく発展した

当時の日本ではフランスの詩はどのように受け取られていたのでしょうか？

明治以降、フランスの詩に限らず西洋の詩に学ぶことで日本の近代詩は大きく発展していきました。明治後半からランボーやヴェルレーヌの詩も訳され始めますが、上田敏や永井荷風、蒲原有明などが、日本の近代詩の礎を作った詩人たちが翻訳をしています。ランボーは昭和に入ってから(1930年以降)、さらに翻訳されることが増えます。小林秀雄がランボーの翻訳詩集『地獄の季節』を出版したのは1930年(昭和5年)。中也も詩人としての歩みと並行して、ランボーの翻訳詩集『ランボオ詩集《学校時代の詩》』(1933年)、『ランボオ詩抄』(1936年)、『ランボオ詩集』(1937年)の3冊を出版します。これらの翻訳詩集はランボー受容史の流れの中で見るとまだまだ初期の方になります。



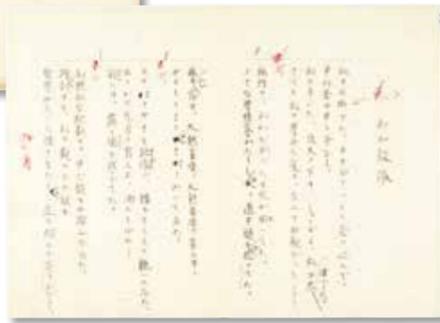
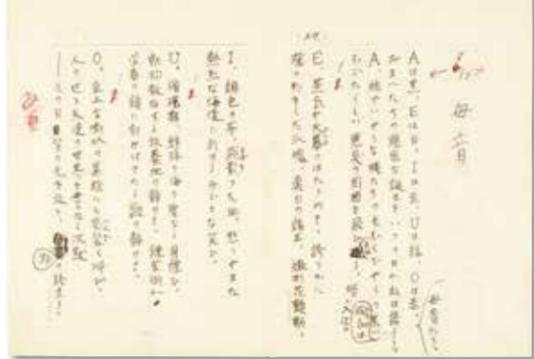
- ◎何気ない、ただの日常が何だかすごいことになって、とにかくおもしろい!! (『ミスシャックリの幸せな一日』より)
- ◎同じ空を見ても、中也と私では見えるものが違うんだろうな…。(テーマ展示「空の歌」より)
- ◎心地よいピアノの音色に日頃の不安や寂しさを一時忘れることができました。(『小林愛実ピアノ・リサイタル』より)
- ◎不思議なファンタジー。人形なのに表情を感じた。(『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』より)



【表象派の文学運動】 イギリスの詩人、アーサー・シモンズによって1899年に書かれた、フランスやベルギーの象徴主義の詩人を紹介した本。象徴主義とは、客観的、写実的な描写に反し、暗示的な象徴を用いて、内面世界や神秘的な世界を描こうとした文学運動。



中原中也翻訳原稿／ポール・ヴェルレーヌ「木馬」  
〔ノート翻訳詩〕より

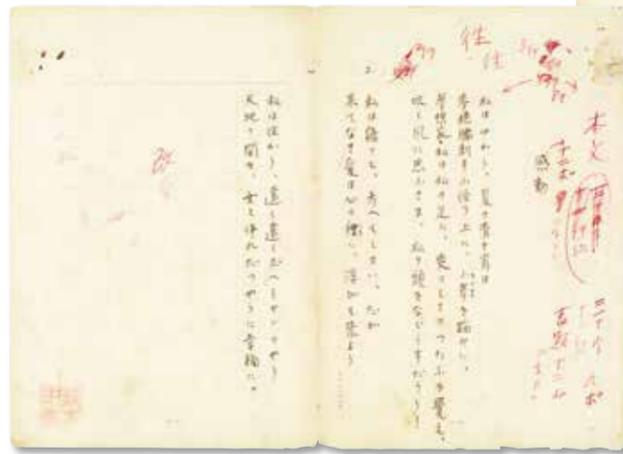


中原中也翻訳原稿／アルチュール・ランボー「わが放浪」

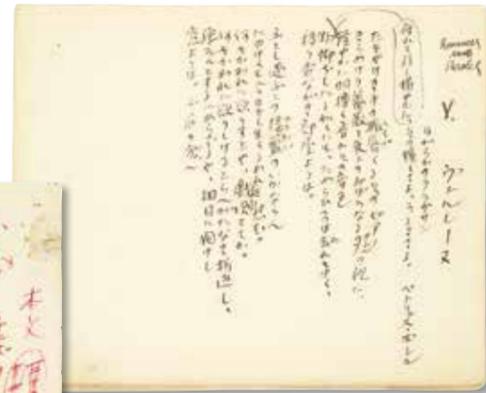


中原中也 18歳頃

中也は2人の詩に  
深く向き合うことで  
自らの詩精神を  
大きく育んだ



中原中也翻訳原稿／アルチュール・ランボー「感動」



中原中也翻訳原稿／ポール・ヴェルレーヌ  
〔V(たをわけし手の接するそのピアノ)〕〔ノート翻訳詩〕より

中也がフランスの詩に会って翻訳詩集を出すまでに10年も経っていないんですね。

中也は大変な熱量でフランスの詩に向き合い、熱心にフランス語の勉強を重ねました。中也は1925年に上京し、その翌年には語学学校のアテネ・フランセに通い、1931年～33年にかけて東京外国語学校で本格的にフランス語を学びます。中也はフランス詩人の存在を知った初期の頃から、原文の『ランボー著作集』や『ヴェルレーヌ全集』を入手していました。中也が実際に読んだこれらの詩集は残念ながら現存していませんが、残された写真からは、辞書を片手に訳した言葉を、詩集に書き込みながら読んでいた様子がかげがえします。富永から東京大学仏文学科に

入学したばかりの小林秀雄を紹介され、ヴェルレーヌの翻訳を多く残した河上徹太郎とも親しく交友を結びました。こうした仲間との間で訳を見せ合うなど、お互いが切磋琢磨する中で成長していった部分も大きいと思います。

### 中也は詩作にあたって音楽性やリズムを大切にしていた

中也は2人の詩人からどのような影響を受けたのでしょうか？

中也が翻訳をしたのはランボーの方が圧倒的に多いですが、中也自身の作品に見られる影響は、ヴェルレーヌからの方がより大きく感じられます。ヴェルレーヌが

詩に音楽性を求めていたのと同じように、中也も詩作にあたって音楽性やリズムをととても大切にしていました。例えば「汚れつちまつたの7音の言葉ですが、そこに「汚れつちまつた」というように「つ」を入れることであえて8音にしています。リズムの変調を入れるあたりが、音を意識している表れでもあり、中也とヴェルレーヌとの共通性を感じます。また、ヴェルレーヌの詩は音楽になっているものが多く、ヴェルレーヌの詩にインスピレーションを得て、ドビュッシーが「月の光」を作ったと言われています。その他にも多くの作曲家たちが、ヴェルレーヌの詩を元に曲を作りました。中也も音楽団体「スルヤ」の作曲家たちに作曲をしてもらっていました。音楽との関わりという点でもヴェルレーヌと近いものが感じられます。詩の内容自体にもヴェルレーヌの詩からの影響がみられます。中也の詩「帰郷」の最後に、「あゝ おまへはなにをして来たのだと……／吹き来る風が私に云ふ」という一節があります。訳し方によって多少は違いますが、ヴェルレーヌの詩にあ

る「——どうしたのだ？ 御前は又／涙許り流してゐて。／御話し、さあ、御前の青春は／どうしたのだ？」(『叡智』第3詩群第6番／河上徹太郎訳『叡智』1935年、芝書店)という部分に、ヴェルレーヌの影響が指摘されています。翻訳の世界では、同じ翻訳者が同じ作品を何度も訳し直して、少しずつ手を加えてブラッシュアップしていくことがあります。中也は1937年に『ランボオ詩集』を出版し、その直後に亡くなっていますが、長生きしていたら、ランボーの詩に取り組み続けて、さらに納得がいくような洗練された翻訳を発表したかもしれません。中也の翻訳は独特で、中也の詩であるかのように感じられることもあって、訳詩と中也自身の詩が混然一体となっている感じが、中也訳の大きな魅力であると感じます。この時の中也にしかできない訳が『ランボオ詩集』として結実しているのだと思います。彼らの詩を翻訳することで中也は詩人として成長していったのです。中也は翻訳行為を通して2人の詩に深く向き合うことで、自らの詩精神を大きく育みました。翻訳は訳者の血のかよった言



この資料に注目!

『模範仏和大事典』(1921年初版、白水社) 中也が使っていた仏和辞典(旧蔵本は現存せず)。

葉を使って訳されるわけなので、タイトルひとつとって見ても、訳者によって全然違ってきます。ランボーの詩「サンサシオン」は直訳すると「感覚」ですが、永井荷風は「そぞろあるき」、中也は「感動」と訳しています。中也は詩人としても、翻訳者としても優れた言語感覚を持ち合わせていました。訳す言葉を選びとる、言葉選びひとつで全く変わってくるのが、訳詩の面白さだと思います。中也は当時、白水社の『模範仏和大事典』という辞書を使っていましたが、その辞書に出てくる訳語が中也の訳に直接反映されていたり、さらには中也自身の詩にもその影響が表れていたりすることもあります。翻訳を介して育まれていった、中也の詩の独自性や詩人としての中也の魅力について感じていただきたいです。

## 特別企画展 「中也とランボー、ヴェルレーヌ」

2024年8月1日(木)～9月23日(月・休) 会場：中原中也記念館

〔入館料〕 ( )内は20人以上の団体料金 一般 330円(275円)／大学生 220円(165円) 18歳以下・70歳以上無料



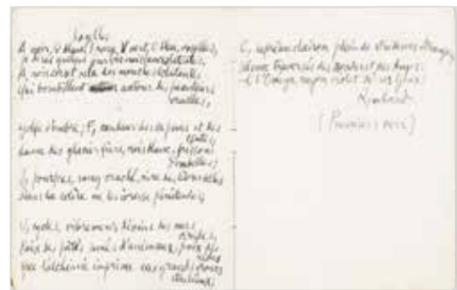
## PRESENT

特別企画展「中也とランボー、ヴェルレーヌ」のパンフレットをプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、7月31日(水)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

特別企画展 「中也とランボー、ヴェルレーヌ」パンフレット(3名)

【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7 (公財)山口市文化振興財団 「any vol.128 特集プレゼント」係 FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfcr.or.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



この資料に注目!

富永太郎がフランス詩を書き写したノート

富永を通して、中也はフランス詩人の存在を学んだ。富永太郎「フランス詩ノート1」(国立神奈川近代文学館蔵) 中也もちに翻訳したランボー「母音(Voyelles)」の原文

「の！」

- ◎あまり見ない中也の短歌についてよく知れたし、たくさん触れられてよかった。(企画展Ⅱ「中也と短歌」より)
- ◎山口にいとと寄席まで行く機会も少ないのでおもしろく観れました。(「特撰落語名人会」より)
- ◎ダダに興味があり、偶然このような企画をみることでよかった。(企画展Ⅰ「ダダと中也のノート」より)
- ◎とても素晴らしい舞台でした。大ファンになってしまいました。最高!!(「ミスしゃくりの奉せな一日」より)

「の！」

- ◎中也が文字で表現した空の美しさを自分も感じる事ができました。(テーマ展示「空の歌」より)
- ◎美しい音色に心が洗われると同時に、小林さんの気迫に圧倒されました。(「小林愛実ピアノ・リサイタル」より)
- ◎銭天堂の世界にすっかり入り込んで観てしまいました。人形の1人1人にしっかり命を感じました。(「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」より)
- ◎ダダイズムの歴史的背景が知れてよかった。(企画展Ⅰ「ダダと中也のノート」より)

# any通信

アーティストから聞いたこぼれ話、  
映画や本の情報など、  
旬のお便りを詰め込んで、  
あなたのもとへお届けします。



## 星空と夜風に誘われる、 夏の野外上映会



過去の開催の様子 photo: 谷 康弘

中央公園で映画を楽しむ夏の恒例イベント「真夏の夜の星空上映会」。今年もお盆前に3日間開催します。アニメーションやドキュメンタリー映画など、親子連れからお年寄りまで楽しめる参加しやすい上映ラインアップに加え、美味しい飲み物や食べ物の屋台も集合!! 頬をなでる夜風は心地よく、思い思いに飲んだり食べたりしながらみんなで一緒に映画を観るあの時間は格別。きっとあなたの夏の思い出を彩ることでしょう。

### ■ 真夏の夜の星空上映会 2024

2024年8月9日(金)～11日(日・祝)

各日 19:30～

会場: 中央公園(山口情報芸術センター前)

[上映作品] ※10、11日は日本語吹替版

8月9日(金)「走れ! 走れ走れメロス」

8月10日(土)「ミニオンスフィア」

8月11日(日・祝)

「ダンジョンズ&ドラゴンズ  
アウトローたちの誇り」

[料金] 無料 ※12歳以下は要保護者同伴

### 雨の下でも晴れやかに

詩の朗読を好んだ中にもちなんで、中也の誕生日である4月29日に行われている「空の下での朗読会」。ここ数年の連続の雨天開催に「今年こそは!」という願いも届かず、「空の下」ではなく屋内での開催となりました。足元が悪いなかでも会場は満席。今年も多くの方にご参加いただきました。

1部では、参加者が自作の詩や好きな詩を自由に持ち寄り、朗読を披露。2部のミニライブでは、歌手の深川和美さん、ピアニストの谷川賢作さんによる軽やかで心地よい演奏に加えて、詩人の和合亮一さんの朗読にあわせて谷川さんがピアノの即興演奏を披露。熱のこもったパワフルなパフォーマンスに会場の温度がさらにあがっていきました。

続いて行われた中原中也賞贈呈式では、授賞者の佐藤文香さんに贈られる拍手が温かく、新しい中也賞詩人の誕生を祝う清々しい空気とあいまって、ご本人も参列者の顔も、とても晴れやかでした。



谷川賢作



深川和美



和合亮一



© 2023「あんのこと」製作委員会

お先に  
試写し  
ました

## 「あんのこと」

(2024年/日本/113分/カラー)

[監督] 入江 悠

「ぜひ、試写していただきたい作品です! でも、元気な時に観てください」と、映画会社から連絡があった本作。さらに、75歳から生死の選択権を与える制度が執行された近未来の日本を描き、物議を醸した映画「PLAN75」のキャスト、スタッフが製作に携わっています。元気があっても辛くなる予感を抱きながら試写しました。決して穏やかな気持ちで鑑賞できる作品ではありませんが、コロナ禍の終息に向き合う今だからこそ、観るべき作品です。

本作では、コロナ禍で実際に起きた事件をもとに、未来を閉ざされ、社会が見落とした一人の少女・杏(あん)の姿が描かれます。ただ

平凡に生きたいと願った杏。映画を観た後、何が正しいのか、何が間違いなのか、正解を求める人は多いと思います。そして自分の価値観の中で納得できる答えを探してしまうかもしれません。「あんのこと」は元気がない時に観ると落ち込む映画ではなく、杏が実際にいたことを忘れないために作られた作品です。

前原美織 (YCAMシネマスタッフ)

2024年7月22日(月)～8月4日(日)

※上映開始時間等はお問い合わせください。

会場: 山口情報芸術センター スタジオC

[料金] 一般 1,400円

any会員・25歳以下・特別割引 1,000円

【あらすじ】21歳の主人公・杏は、幼い頃から母親に暴力を振るわれ、10代半ばから売春を強いられて、過酷な人生を送ってきた。ある日、覚醒剤使用容疑で取り調べを受けた彼女は、多々羅という変わった刑事と出会う。大人を信用したことのない杏だが、なんの見返りも求めず就職を支援し、ありのままを受け入れてくれる多々羅に、次第に心を開いていく。コロナ禍で露わになった、社会的弱者に焦点を当てた社会派ドラマ。

# ARTIST VOICE

アーティスト  
ボイス

## 亀井聖矢 (ピアニスト)

国内外で活躍中の最も旬な演奏家らによる、室内楽コンサートの新シリーズ第2弾として、ロン＝ティボ国際音楽コンクールにて優勝するなど、今、世界が注目する俊英ピアニスト、亀井聖矢さんを迎えてソロ・リサイタルを行いました。また、コンサート翌日には、市内の支援学校2校を訪問し演奏を披露してくださいました。初めて訪れた山口で、亀井さんはどんな時間を過ごされたのでしょうか?

## 幸せな2日間でした。

「DYNAMIC賢者の音II～亀井聖矢ピアノ・リサイタル～」で人生で初めて山口県を訪れました。到着した際に雪が降っていて、東京よりもかなり寒くて驚いた記憶があります。ショパンの「舟歌」、ド・リグヴェンニの「お手をどうぞ」による変奏曲など、初めてお客様の前で弾く曲が多かったのですが、皆様が温かく迎えてくださったおかげで、とても良い雰囲気の中で演奏会を終えることができました。コンサートの翌日にはアウトリーチとして初めて学校で訪問演奏をしました。「ようこそ亀井聖

矢さん」と大きく書かれた手書きの横断幕に出迎えられ、子どもたちも集中して演奏を聴いてくれました。個人的にはこれが21歳最後のステージでもあったのですが、子どもたちに喜んでもらえたおかげで、22歳も頑張ろうと身が引き締まりました。余談ですが、演奏会後に地元の居酒屋で食べたあじみりんやお刺身がとても美味しかったです。演奏会はもちろんですが、美味しい食べ物にも恵まれ幸せな2日間でした。また機会があればぜひ山口に伺いたいです!



### 亀井聖矢 KAMEI Masaya

2001年生まれ。愛知県出身。4歳よりピアノを始める。19年、第88回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、及び聴衆賞受賞。第43回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、及び聴衆賞受賞。22年、ロン＝ティボ国際音楽コンクールにて第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞。ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでに、N響、読響、東響、東京フィル、日本フィル、関西フィル、京響など、国内の主要オーケストラと共演。

## の読窓書

### 『『罪と罰』を読まない』

岸本佐知子、三浦しをん、  
吉田篤弘、吉田浩美 著  
2019年/文藝春秋



ロシアの文豪ドストエフスキーの『罪と罰』を読んだことがありますか。ロシア文学、長編、古典と読むのに躊躇する要素満載で、なかなか手が付けられません。でも私はこの本を読んで安心しました。こんな有名な作家たちも読んでいないのだと。ただ並の人間と違うのは、未読の作家4人で集まって、もう読まずに読書会を開催しちゃおうとするところです。

断片的な情報だけであってもない、こーでもないと推理した内容はおもしろく、私のような並の人間はすっかりそれで読んだ気になってしまいました。後半は読後の感想になるのでネタバレ注意ですが、読書には色んな楽しみ方があるのだと思わせてくれる1冊です。

上山麻実子(山口市立中央図書館 職員)

映画

と



### 『関心領域』パンフレット

(2023年/アメリカ・イギリス・ポーランド/  
監督: ジョナサン・グレイザー)

8月にワイカムシネマにて、世界中の映画祭を席巻した衝撃作「関心領域」(原題: The Zone of Interest)を上映予定です。第二次世界大戦中、ポーランドのアウシュヴィッツ強制収容所の隣で平和な生活を送る家族の日々の営みを描いた本作。漆黒と真っ赤な花が印象的な表紙は、米アカデミー賞ノミネートを記念して映画会社A24が製作した限定ポスターのデザインが使われています。中を開いていくと、黒地のページには、歴史のリサーチや撮影方法、音楽など、監督のこだわりの「理由」が浮き彫りになっています。私たちの「関心領域」を確実に広げてくれる一冊です。

## any music



### STUTS & 長岡亮介 「いろいろのうた」

#### キャンプをしながら聴きたくなる曲

トラックメーカー/MPCプレイヤーであるSTUTS(スタッツ)と、ギタリストであり歌手である長岡亮介が、四季が彩る自然の色からつけられた「和名の色」をテーマにした楽曲。STUTSの心地よいビートメイクに、風景や自然、植物や空間にある様々な色を歌詞にした2人の歌声が重なり、1年を通じて色々な場所へ旅行しているような気分が音楽が進んでいく。普段の日常から離れ、屋外で食事でもしながらこの曲を聴くと、いつも見ている風景にも沢山の色が名付けられていることに気づき、豊かな感性に触れられる。自分ではどんなものにどんな色を見つけているのか、過ぎゆく四季の中の一時に考えてみたいと思う、そんな1曲。

中上淳二(YCAM音響スタッフ)

「みんぱん」  
の!

- ◎落語と講談は日本の宝ですね。趣の違う話芸ですが素晴らしい。(「特撰落語名人会」より)
- ◎軽やかに美しく弾かれる姿に見入りました。(「小林愛実ピアノ・リサイタル」より)
- ◎次は何をするんだろうとワクワクしっぱなしでした。ミスしちゃうりに幸せをもらった1日でした。(「ミスしちゃうりの幸せな一日」より)
- ◎好きな短歌を見つけることができました。(企画展II「中也と短歌」より)

「みんぱん」  
の!

- ◎紅子さんがとてもリアルで迫力があつた。(「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」より)
- ◎とても滑らかなタッチで、キレイでうっとりする音色でした。(「小林愛実ピアノ・リサイタル」より)
- ◎憧れの笑点メンバーのお話を聞いていい時間になりました。(「特撰落語名人会」より)
- ◎ミスしちゃうりに幸せをもらった1日でした。(「ミスしちゃうりの幸せな一日」より)

先行チケット  
発売情報  
早チケ

8月10日  
発売!

### Audio Base Camp #3

2024年10月11日(金)～14日(月・祝)  
会場: 山口情報芸術センター  
スタジオA



photo: 谷康弘

自作の楽曲やフィールドレコーディング、アンビエント音楽といった多種多様なテーマに応じた録音物を紹介するリスニングイベントの第3弾。全国有数の高品質な音響環境を誇るYCAMスタジオAで、じっくりと「聴く」ことに集中する贅沢なプログラム。あわせて、レコードに造詣の深い「目利き」とも言えるDJたちによるDJプログラムも開催します。聴覚の世界が広がること請け合いです! ぜひ体感してください。

[チケット情報] 8月10日(土)～

[料金] 全席自由

前売(1回券) 一般 1,300円 ほか

※割引料金、DJプログラムチケット、フリーパス券等、詳しくはwebサイトをご覧ください。

先行チケット  
発売情報  
早チケ

8月24日  
発売!

### サーカス・シルクール 「ニッティング・ピース」

2024年11月9日(土)・10日(日)  
会場: 山口情報芸術センター  
スタジオA



photo: Karoline Henke

スウェーデンを拠点とする現代サーカスのカンパニー、サーカス・シルクール。社会的メッセージの強い作品を発表し続け、常に世界中で注目を集める彼らがついに山口に! 今回上演する「ニッティング・ピース」は、14カ国63都市で上演された人気作。人々は平和を編むことができるのか? 平和を願う白い糸とロープが紡ぐ幻想的な舞台の中で、サーカスアーティストたちが謎めいた音楽に導かれながら、パフォーマンスを繰り広げます。

[チケット情報] 8月24日(土)～

[料金] 全席自由

前売 一般 4,000円 ほか

P I C K U P E V E N T ! S U M M E R 2 0 2 4  
ピックアップイベント

## 山口情報芸術センター[YCAM]

https://www.ycam.jp/

YCAM Dance Crew 2024

※7/10～18、22、8/2～4はイベント準備のため休止します。

### ダンスブース展示

開催中～2024年11月10日(日) 11:00～18:00

会場: コミュニティ・スペース

### ダンスが進化する 体験展示

カメラやセンサーが埋め込まれたブースの前で体を動かすことで、誰でも楽しくダンス映像を撮影・演出することができる体験型の展示が、2021年に引き続きYCAMに登場します。

3年前の展示ブースでは、小さな子どもからシニア層まで幅広い年齢の方が、ここでしか体験できないオリジナルのダンス空間を楽しんでいました。今回もダンス映像にエフェクトを追加するなど、ダンスに連動したさまざまな仕掛けが満載。さらに、AIを使った、入力した言葉にあわせて自分の姿(アバター)が変化する新ブースが登場! 自由にカスタマイズしながら自分だけのダンス映像を創作してください。



photo: 山中慎太郎 (Qsyum)

#### わたしはココに注目する!

関連企画として、プロの振付師やYCAMスタッフとともに、ダンス映像の撮影と編集にチャレンジする3日間のワークショップを行います。

#### メディア・テクノロジーで

#### ダンスをパワーアップするワークショップ

日時: 2024年8月2日(金)～4日(日) ※3日間通し

[講師] 笹本龍史、Rion Watley ほか

[参加費] 無料(要申込) ※詳細はwebサイトをご覧ください。

料金 | 無料

## YCAM 爆音映画祭 2024

2024年8月29日(木)～9月1日(日)

会場: スタジオA

### ひとあじ違った 大迫力の映画体験を!

映画批評家の樋口泰人が国内外で開催している「爆音映画祭」。ライブ向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて大音響で映画を観る・聴く上映イベントです。“YCAM爆音映画祭”は、国内でも最高レベルの音響環境をフル活用した“日本最強の爆音映画祭”として、全国各地のファンからも親しまれています。爆音映画祭の舞台裏を覗けるバックステージツアーでは、上映作品の1つである「夜明けのすべて」を大解剖!! 音にこだわったシーンの通常上映と爆音上映の聴き比べに加え、三宅唱監督の解説付きとい



© 瀬尾まいこ / 2024「夜明けのすべて」製作委員会

う贅沢な企画です。音が変われば映画そのものも違ってみえてくる! 他にも「ミッシェル・ガン・エレファント “THEE MOVIE” LAST HEAVEN 031011」「ミレニウム・マンボ 4Kレストア版」などの上映ラインアップでみなさまをお待ちしております。

#### わたしはココに注目する!

オープニングイベントとして、バンド「Bialystocks」を結成するなどミュージシャンの一面も持つ映画監督の甫木元空さんをゲストに迎えて、爆音映画祭ならではの特別ライブを開催します。昨年に続き、2年連続の登場となる甫木元空さんの優しい歌声に酔いしれよう!

チケット情報 | 7月6日(土)～

料金 | 全席指定 前売 1回券 一般 1,500円 any会員・25歳以下・特別割引 1,300円

3回券 一般 4,200円 any会員・25歳以下・特別割引 3,600円

※上映開始時間やプログラム等詳細はお問い合わせください。 ※any会員割引はご本人のみ。

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員4枚まで。

■特別割引: シニア(65歳以上)、障がい者(同行の介助者は無料)

■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。

■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

P I C K U P E V E N T ! S U M M E R 2 0 2 4  
ピックアップイベント

## 中原中也記念館

https://www.chuyakan.jp/

企画展Ⅱ(前期)

### 浅田弘幸展——『眠兎』と中也、そして新作絵本

2024年9月26日(木)～2025年1月26日(日)

### 浅田弘幸の作品を通じて知る 中也の詩の魅力

中原中也の作品にゆかりのあるアーティストとのコラボレーションを通じて、中也作品の新たな魅力を探っていく今年度の企画展Ⅱ。9月から始まる前期では、『I I～アイル～』『テガミバチ』(集英社)などの作品で知られる漫画家・浅田弘幸を取り上げ、彼の作品を展示します。浅田は、初期の代表作『眠兎』を始め、中原中也の作品や人生に啓発された作品を数多く制作してきました。本展では、中也の詩をテーマにした絵本の出版を記念し、11月24日まで『眠兎』など中也



© 浅田弘幸

に関連した作品を中心に、展示替えののち11月27日からは今年刊行予定の新作絵本を中心に、2期に分けて浅田の画業を紹介します。

#### わたしはココに注目する!

浅田弘幸の作品を通じて、中也の詩の魅力にハマった人は数知れず。浅田ファンはもちろん、中也の詩に関心がある方にもおすすめの展示です。浅田作品の美しい描線にも注目!

入館料 | 一般 330円(275円) / 大学生・高等専門学校の学生 220円(165円)

※あわせてテーマ展示もご覧いただけます。 ※18歳以下、70歳以上無料 ※( )内は20人以上の団体料金

これで  
あなたも中也通?  
検定



立命館中学3年時の中也

Q ダダイズムに没頭していた16歳頃の中也は、自ら「ダダイスト中也」を名乗り、友人たちからは「ダダさん」と呼ばれていました。この頃、詩人・富永太郎と出会いますが、富永の実家では、中也にちなみ、あるものを「ダダさん」と呼んでいました。さて、富永家で「ダダさん」と呼ばれていたものとは、いったい何でしょうか。

- 1 中也がプレゼントした置物
- 2 中也がよくかぶっていた山高帽
- 3 中也が好きだった料理の名前

答えは14ページ

中也を味わおう

### 夏日静閑

暑い日が毎日つづいた。  
隣りのお嫁入前のお嬢さんの、  
ピアノは毎日聞こえてゐた。  
僕はみんな避暑地に出掛け、  
僕だけが町に残つてゐた。  
撒水車が陽に輝いて通るほか、  
日中は人通りさへ殆んど絶えた。  
たまに通る自動車の中には  
用務ありげな白服の紳士が乗つてゐた。  
みんな僕とは関係がない。  
偶々買物に這入つた店でも  
(なまも) 怪訝な顔をされるのだった。  
こんな暑さに、おまへはまた  
何条買ひに来たものだ?  
店々の暖簾(のれん)やビラが、  
あるともしもない風に揺れ、  
写真屋のショウキンドー(かほ)には  
いつもながらの女の写真。

一九三七、八、五

#### 【解説コメント】

中原中也記念館前庭にある「屋外展示」のコーナー。中原中也記念館開館30周年にちなみ、今年のテーマは中也30歳の詩です。今回はその中から、「夏日静閑」という詩を紹介いたします。この作品は、雑誌「文芸汎論」第7巻第10号(1937年10月)に発表されました。作中の「何条」とは、「なんと」いうの変化した語で、ここでは「どうして」の意。  
(僕)がいる町は、中也が晩年を過ごした鎌倉がモデルになっていると思われまふ。細かく描かれる日常の描写が、周囲の人々とかけ離れていく(僕)の疎外感を浮かび上がらせていきます。閑散とした町の様子や、淡々とした筆致が(僕)の孤独をいっそう際立たせます。



屋外展示の様子

観覧  
の  
ビュ  
ー  
の  
！

◎「ダダさん」ってなんか可愛い呼ばれ方ですね。(企画展Ⅰ「ダダイスト中也のノート」より)

◎初めてしっかりと生でみる人形劇でとても入り込んで楽しかったです。(「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」より)

◎細部まで研ぎ澄まされた感性。人柄も全部ひっくりくるめて、素晴らしい一言に尽きます。(「小林愛実ピアノ・リサイタル」より)

◎奥が深い詩の世界が、空の写真と丁寧な解説で案内されていてよかった。(テーマ展示「空の歌」より)

## 山口市民会館

http://www.yamaguchi-civichall.com/

特撰花形落語会

### 春風亭昇太・林家たい平 二人会

2024年7月25日(木) 14:00開演

会場:大ホール



春風亭昇太

林家たい平

### いよ、待ってました! ご兩人!!

テレビ番組「笑点」でお馴染みの落語家による豪華競演の落語会が4月に引き続き、7月にも山口市民会館で開催されます。二人会として今回お呼びするのは、春風亭昇太と林家たい平のご兩人。落語芸術協会の会長を引き受ける度量とフットワークの軽さ、笑点での軽妙な司会っぷりがお茶の間の人気をさらっている春風亭昇太。

迎え撃つのは、林家伝統のサービス精神あふれる芸風を受け継ぎ、笑点メンバーとの掛け合いのみならず、独演会で披露する「たい平ワールド」と呼ばれる楽しさ

**わたしはココに注目する!**  
たい平師匠はすでにこのシリーズで山口に何度か来られていますが、昇太師匠は初めて!! 初コンビに思わずにんまり。それぞれの高座でお互いのいじりあい、掛け合いがあるのか!? 笑いを取り入れて日々の生活に活力を!!

チケット情報 | 発売中

料金 | 全席指定 一般 4,000円 / any会員 3,600円

### でべそ版ずっこけ狂言

### ぼんさん・ぼんさんギンナンパー

2024年9月8日(日) ①10:30開演 ②17:00開演

会場:小ホール



### 伝統芸能をググッと身近に!

### 全世代が楽しめる新感覚の狂言

「伝統芸能って難しそう」「なんだかハードルが高いな」と、感じている方も多いはず。ご安心ください! 若駒のでべそ版ずっこけ狂言は、狂言の代表的な演目を幼児から大人までが楽しめるように大胆にアレンジ。伝統芸能をとっても身近に感じられる内容になっています。今回の演目は、知り合いの屋敷から盆山(箱庭や盆栽の上に自然の石や砂を用いて作った山)を持ち帰ろうとした男がさんざんにかかわられて逃げ帰るお話「ぼんさん」。そして、折れば折るほど増え続けるキノコ(!?)がテーマの「くさびら」。それぞれ狂言の「盆山」「菌」が

元になっています。古典のおもしろさはそのままに、伝統芸能のエッセンスを盛り込んでみなさまにお届けします。

**わたしはココに注目する!**  
「でべそ版」の「でべそ」って何のことでしょう? その答えは舞台の形。ずっこけ狂言は円形=でべそ型の舞台をぐるりと囲んで鑑賞するから、どこに座っても観やすいんです。舞台公演が初めてのお子様にもとってもイチオシですよ。

チケット情報 | 7月6日(土)~

料金 | 全席自由 前売 一般 3,500円 / any会員 3,000円 / 25歳以上 2,000円  
当日 一般 4,000円 / 25歳以下 2,500円

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員4枚まで。  
■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。  
■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。  
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

## mini PICK UP!

### 松元ヒロ・ソロライブ 2024

2024年7月13日(土)

13:30開演

会場:山口市民会館 小ホール



photo: 橋連二

コメディアン・松元ヒロのソロライブを今年も開催します! テレビの世界を棄て、全国での舞台公演に日々東奔西走している松元ヒロ。公演終了後のアンケートでは、ご来場いただいたみなさまから、「笑ってストレスが吹き飛んだ」「笑いの中にもほろりと涙が出ました…」と、いつもアツい感想をいただいています。まだご覧になったことがない方は、ぜひ足をお運びください。人気公演につき、お席はお早めの確保がおすすめです!!

[チケット発売] 発売中

[料金] 全席指定

前売 一般 3,200円

any会員 2,700円

当日 3,700円

先行チケット  
発売情報  
早チケ  
any会員  
先行予約  
8月3日

### ケロボンズ わくわくコンサート

2024年10月12日(土)

14:00開演

会場:山口市民会館 大ホール



代表作「エビカニクス」がYouTubeでの動画再生回数なんと1億4千万回を突破したケロボンズ。増田裕子(ケロ)と平田明子(ボン)によるミュージック・ユニットです。山口市民会館では6年ぶりのステージとなります。10月といえば、厳しい暑さも和らいで体を動かすのも気持ちよい季節ですよ。スポーツの秋! 音楽の秋! ケロボンズと楽しく歌って踊りましょう。ご家族、お友達も一緒にぜひお越しください!

[チケット情報]

any会員先行 8月3日(土)~

一般発売 8月17日(土)~

[料金] 全席指定

前売 一般 3,500円 ほか

※3歳以上有料

## サククス奏者・

## 五十嵐健太を迎えて

初心者から上級者まで楽しめる  
バラエティに富んだ内容と、気さくなトークを交えた  
親しみやすいコンサートとして企画する  
財団オリジナルのコンサート・シリーズ  
「DYNAMIC賢者の音」。

その第3弾のゲストに、  
21歳のサククス奏者・五十嵐健太を迎えます。



# DYNAMIC 賢者の音

### 彗星のごとく現れた 若きサククスプレイヤー

バレリーナとして来日したウクライナ人の母と、日本人の父との間に生まれた五十嵐健太。1歳で父を亡くし、5歳でウクライナのキーウへ移住します。7歳からサククスを始めた彼は、才能を見出され11歳で音楽学校へ。その後、国立チャイコフスキー記念音楽院に通い、数々の国際コンクールに入賞するなど、演奏家としての道を着実に開いていました。しかしロシアのウクライナ侵攻により、2022年3月に日本への避難を余儀なくされ、同年、東京音楽大学へ転入。その年の夏には、若手演奏家の登竜門である日本管打楽器コンクールで優勝。翌年には、世界最高峰といわれるアドルフ・サククス国際コンクールで5位入賞。圧倒的なスーパーテクニクに加え、その音色の美しさで聴衆を魅了しています。クラシックにとどまらず、ジャズ、ポップスと自在に吹きこなす様は圧巻!! 日本のサククス界に突如として現れ、旋風を巻き起こしている若き逸材として、いま多くの注目を集めています。

### サククスの魅力を 存分に楽しめる構成

今回のコンサートは、サククスの魅力を余すところなく堪能できる2部構成となっています。1部はピアノとのデュオで、クラシックの古典から現代まで幅広いレパートリーで構成し、五十嵐のトークを交えながら、彼とサククスの魅力をお届けします。中でも注目すべきは、今回のコンサートのために財団が委嘱した作曲家・久留智之の新曲披露。平和への祈りを込めた、サククスとピアノのための新曲の世界初演をお聴きください。ピアノには、宇部市出身で長くフランスで活躍してきた田中しのぶを迎えます。2部では、五十嵐率いるサククス・カルテットの演奏と、最後に地元吹奏楽部との共演を行います。カルテットは、山口市出身の井出崎優が、東京を拠点に活躍する若手精鋭メンバーに呼びかけ、特別に結成しました。ソロからカルテット、プラスとの共演と、ここでしか聴けない多彩な編成とオリジナルのプログラムで、クラシックの枠を超えたサククスの世界を存分にお楽しみください。

**五十嵐健太さんからのメッセージ**  
サクソフォンは比較的新しい楽器です。当初はトランペットのために発明され、古典的な楽器でしたが、20世紀初頭にはジャズ音楽で人気が高まり始めました。今では、サククスといえは「ジャズ」と言われるほど有名ですね。今回のコンサートでは、私はクラシックとジャズサクソフォンを演奏します。新しいサウンドを楽しめるコンサートです。ピアノとのデュオやサクソフォンの4重奏、トランペットとそれぞれの音色を聴いて欲しいです。山口県に行くのは初めてなのでとても楽しみにしています。お客様が音楽を聴き、その日の問題を忘れ、幸せになってくれたら、私は嬉しいです。ぜひお越しください。

### ロビーコンサートもあります!

10月6日(日) 13:00~13:30

山口市民会館 展示ホール

児童合唱団山口がウクライナ民謡や日本の童謡などを披露します。小さなお子さんも大歓迎!

入場  
無料

## DYNAMIC賢者の音Ⅲ 五十嵐健太とサククスの世界

2024年10月6日(日) 14:00開演(13:15開場) 会場:山口市民会館 大ホール

[チケット情報] any会員先行 7月27日(土)~ / 一般発売 8月3日(土)~

[料金] 全席指定 (5歳以上入場可)

前売 一般 3,000円 / any会員 2,700円 / ペア 5,600円 / 学生 1,000円

当日 一般 3,500円 / 学生 1,500円

[曲目] サン=サーンス:クラリネットソナタより / モンティ:チャールダーシュ / 久留智之:新曲

ピゼー:カルメン・ファンタジー / 聖者の行進 / Watermelon Man ほか

[出演] 五十嵐健太(サククス)、田中しのぶ(ピアノ)、

足立雄大・井出崎優・彦坂優太(サククス)、山口市立鴻南中学校吹奏楽部

7 July

8 August

9 September

※掲載内容は2024年6月1日現在のものです。変更場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター [YCAM] https://www.ycam.jp/	開催中	YCAM Dance Crew 2024 ダンスブース展示 (本誌p.10参照) ※8/2~4「メディア・テクノロジーでダンスをパワーアップするワークショップ」あり	9	11	29	1	13	10	6
			真夏の夜の星空上映会 2024 (本誌p.8参照)		YCAM爆音映画祭 2024 (本誌p.10参照)		meet the artist 2022成果発表: 中園町で逢いましょう		
山口市市民会館 http://www.yamaguchi-civichall.com/		13	25	22					
		松元ヒロ・ソロライブ2024 (本誌p.12参照)	特撰花形落語会 春風亭昇太・林家たい平 二人会 (本誌p.12参照)	山口ぎずな音楽祭2024 vol.10+6					
中原中也記念館 https://www.chuyakan.jp/	開催中	企画展I ダダイスト中也のノート ※7/15 プロムナード・トークあり	28	1					23
			特別企画展 中原中也とランボー、ヴェルレーヌ (本誌p.2~7参照)						
	開催中	第21回テーマ展示 空の歌	28						26~2025/2/11
									26~2025/1/26
			26		23		7		27
			中原中也を読む会 会場: 山口情報芸術センター		中原中也を読む会		公開講演		中原中也を読む会

[マーク説明] 体験する 参加する 聴く 観る

## INFORMATION

### ■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

### 予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ (24時間受付)

<https://www.ycfcp.or.jp/>

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。

電話 チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日、ほか臨時休館日あり)

TEL. 083-920-6111

窓口 チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日、ほか臨時休館日あり)

山口情報芸術センター

### 支払方法

クレジットカード インターネットにてチケット予約された際に利用いただけます。(窓口でも利用いただけるようになりました)  
チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。  
お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口 ※上記予約方法「窓口」参照

### ■託児サービスについて

山口市文化振興財団では  
託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。  
お子様の食事は事前に済ませておいてください。

### 公演開催時

[対象] 0才(6カ月)以上  
[料金] 1人につき700円、  
2人目以降は1人につき500円  
[時間] 開演の30分前から終演後30分まで  
[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケット  
インフォメーションまたは山口情報芸術センターに  
てお申し込みください。  
※公演によっては行わない場合もございます。  
事前にお問い合わせください。

### 山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上  
[料金] 1人につき30分200円  
[時間] 12:30~17:00 1回2時間まで  
(山口市立中央図書館休館日を除く)  
[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにて  
お申し込みください。満員の際は順番制となります。

### any 会員募集!

※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市市民会館などで行われる財団主催・共催の公演  
や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。  
公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+登録費500円 ※会員期間内に更新される場合、登録費は不要です。  
[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで  
[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、  
情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人  
**山口市文化振興財団**  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion  
〒753-0075 山口市中央2-5-1 (山口情報芸術センター内)  
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488  
https://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

### 編集後記

昔は暑いのが嫌で夏が苦手だったけど、歳を重ねて、それなりに楽し  
めるようになってきました。今年はどんなふうにも過ごそうかな。[M.D]  
前号特集でご紹介した演劇公演が無事に終了! スタッフ&キャスト御  
一行は一の坂川にホテル狩りへ。山口の初夏の夜の風物詩を堪能  
いただき、ご満悦の様子で次の公演地に旅立たれました。[K.A]  
この夏は例年より暑くなるとか。今こそ涼しいスタジオで映画や舞台を  
観たり、逆に思いっきり野外イベントで夏を満喫してはいかが!?[Y.I]

### A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21  
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431  
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]  
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]  
[休館日] 月曜(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始  
https://www.chuyakan.jp/

### B 山口情報芸術センター[YCAM]

〒753-0075 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216  
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)  
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日  
https://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

### C 山口市市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488  
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始  
http://www.yamaguchi-civichall.com/

本誌掲載の企画について、今後の情勢により開催が変更または中止になる場合がございます。最新情報は各施設のwebサイト等にてご確認ください。



A. 中也が好きだった料理の名前  
(富水家が中也に振る舞った、牛肉とセロリを一晩ウスターソースに漬け込んで炒めた料理。中也のお気に入りでした。)

# CHEVAUX DE BOIS

Par saint Gille,  
Viens-nous-en,  
Mon agile  
Alezan.  
(V. HUGO.)

## 木馬

サシケルのはとりぬ、  
われら来りぬ、  
わか足早の  
栗毛の駒よ。

(トウエーユウ)

Tournez, tournez, bons chevaux de bois,  
Tournez cent tours, tournez mille tours,  
Tournez souvent et tournez toujours,  
Tournez, tournez au son des hautbois.

まはれよ、まはれよ、よき木馬、  
まはれよ、百こゝん、さて千こゝん、  
まはれよさいさい、まはれよ、  
まはれよ、まはれよ、オホアの音に。

公益財団法人  
山口市文化振興財団  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

母音

## VOYELLES

A noir, E blanc, I rouge, U vert, O bleu, voyelles,  
Je dirai quelque jour vos naissances latentes.  
A, noir corset velu des mouches éclatantes  
Qui bombillent autour des puanteurs cruelles,

A は黒、E は白、I は赤、U は緑、O は青、  
おまへたちの穢密な誕生さいつの日か私は語らる。  
A、眩しいやうな蠅たちの毛むくちやらの黒い  
おこたらし、悪臭の周囲を飛びまわす、  
暗い入江。

母音たち